



HOSHIBA

医療法人社団星秀会

ほしば歯科医院ニュースレター

Vol.23

今年は暑い、いや熱い夏でしたね（過去形にしていいものやら悪いのやら）。なかなかエアコンの効いている診療室にいと外の環境は分からないのですが、今年の暑さは『目に余る』ものでした。JUSCO から出てくる人たちが空を見上げてうんざりする姿を何度も見ました。

暑さはさすがにピークを越えたと思いますが、残暑で皆さん身体などを壊さないようにして下さいね。



さて、以前からお知らせしていたように、診療室が移転しました。移転に際して色々不手際があるかと思いますが、より良い体制作りを目指して行きますので今後ともよろしくご指導ください。



水の話



歯科医院で最も重要なのは（歯科医院に限りませんが）水と電気です。現代社会の中で電気はどの場面でも重要なのですが、歯科医院にとっては水も命なのです。うがいをする時、手を洗う時、洗い物をする時、そして何と言っても歯を削る時にも大量の水を使用します。

歯を削る装置はエアータービンと言って、動かすと「キューーン」という音がします。これは高速で回転するので、そのまま削ってしまうとかなりの高熱が発生します。そこで大量の水を歯にかけながら削っていくのです。

さて、このようなタービンの水にはこれまであまり関心を持たれていませんでした。基本的には冷却が目的ですからその組成について注目する人が少なかったのです。しかし、最近、歯科で使用する水の汚染度の調査結果が発表され、学会や

マスコミ等に取り上げられるようになりました。実はかなり汚染されていたのです。週刊誌の中には『歯科医院で感染の危険！』などとセンセーショナルな記事にしたものもありました。

歯科医院の多くは、ユニット（診療用の椅子）の下に配管が組まれています。皆さんが歯科を受診する時、必ず一段上がらなくてはならないのはそのためです。その配管内で細菌が繁殖する環境になってしまったようです。

とは言え、週刊誌の表現は少しオーバーで、ある程度の細菌がいたからと言って全ての人が危険にさらされるというものではありません。高齢者や体力が低下して免疫力が低下したような人の中には注意を要する、という程度です。

しかし、「ほしば歯科医院」では、新規開院にあたりこの問題を重要視し、殺菌水のシステムを導入しました。これは、1カ所で殺菌水を生成（電気分解）し、各診療台および流しに水を供給するというものです。数年前からこの電解水の有用性は認められており、人体に悪影響を及ぼすことはありません。「やっぱり変わったんだ！」と分かるようなものではありませんが、皆様にとって少しでも安全に診療を受けていただければいいなあと思っています。この装置は、新しい診療室の窓際の一番右側にそびえたっています。ご興味があれば見て下さいね。

最近ではUSJの問題もクローズアップされましたが、日本でも蛇口から出る水を安心して飲めない時代になってしまいました。医療機関だからこそこのようなことに気を遣っていきたいと考えています。



ほしば歯科医院 移転完了！

ついに「ほしば歯科医院」が移転しました。皆さんはどう思われましたか？ 入り口に入ってから受付、診療室やレントゲン室など全て雰囲気が一新しました。私たち従業員も、「最後はやってみるまで分からない」という状況であり、思い通りになったところも、そうでないところもたくさんありました。



今回は、かなり広がった診療室をコンパクトにしましたから、皆さんにとっても「手狭」な印象を持たれるかもしれません。しかし、そこは利点と考え、動

きやすく、使いやすい環境を実現し、皆さんのお役に立てるようにしたいと考えています。

ぜひお気軽に皆さんの感想を聞かせてくださいね。

<新住所>

江戸川区西葛西 1-13-7

✕ 歯ぐきが腫れた！ ✕

歯ぐきが赤く腫れることがあります。痛みを伴うこともしばしばあります。これは为什么呢？ 多くのケースは歯槽膿漏（しそうのうろう）の急性発作です。今回はこのような症状の原因と対処を説明しましょう。

いわゆる歯槽膿漏とは、簡単に言うと歯ぐきの炎症です。と言っても程度はまちまちで、全く気にする必要のない人から毎週通院してもらわなくてはならない人までいます。このような状態の方が、体調を崩したり、疲れがたまったり、さらには寝不足等になって体力が落ちてくると、毛細血管（細い血管）の豊富な内臓や歯ぐきの炎症がひどくなってしまうのです。この時に、元々の歯ぐきの状態が悪くなければ症状として出ることはありません。しかし、歯ぐき自体が弱い場合には、ちょっとした全身の疲労によって一気に症状が出てしまいます。赤く腫れたり、痛みが出たり、そして歯が浮いてきたり。

このような時の対応法は、まずは体力回復。多くの場合は、しっかり睡眠をとれば治っていきます。しかし、腫れがひどかったり痛みがあるケースでは抗生物質や痛み止めをしっかりと飲んで症状を抑えていきます。さらに、歯が浮いてしまったような時（噛み合わせると痛い）は噛み合わせの調整が必要です。

「少し調子悪いな」という程度であればしっかり睡眠をとって体調を整えるようにして下さい。痛みがひどいケースや歯が浮いた感じがあるケースでは必ず来院して下さい。

さて、予防法としては一にも二にも歯ブラシをしっかりと健康な歯ぐきを作っておくことです。

今からでも遅くありません。よく磨いてくださいね。



ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771（院長直通）

e-mail hoshiba@ain.co.jp（干場）

tomogoto@ra2.so-net.ne.jp（五島）

編集後記

移転先はまだ戦場のようです。色々やらなくてはならないことがあります、徐々にやっていこうと思います。

これからもよろしくお願い致します。

ほしば歯科医院ニュースレター 第23号
発行日 2002年8月19日発行

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 1-13-7
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771
e-mail. hoshiba@ain.co.jp
発行責任者 干場貫二